

統合化水産海洋情報システムの新しい挑戦と海洋生態学における将来の大型研究計画への発展

New challenge of integrated fisheries information system and links to future large-scale research plan in marine ecology

齊藤 誠一^{1*}

SAITOH, Sei-Ichi^{1*}

¹ 北海道大学大学院水産科学研究院

¹ Faculty of Fisheries Sciences, Hokkaido University

海洋学は、沿岸域におけるオペレーショナルな観測システムの構築へと発展している。この問題は、漁業資源と水産増養殖資源の持続可能な利用という、地球的な課題とも関連している。特に、漁業と水産増養殖業のための衛星リモートセンシングと海洋 GIS 分野はとても速く発達し、そのオペレーショナルな利活用は持続可能な開発・管理のためにも不可欠である。我々は、文部科学省 (MEXT) からの研究補助金「地域イノベーション戦略支援プログラム (グローバル型)」により、2009 年から、「函館マリンバイオクラスタープロジェクト」を始めた。このプロジェクトを通して、我々は、衛星リモートセンシング、ブイ・ネットワークからの観測、4次元 VAR データ同化システム、生態系モデリングを用いて沿岸域イカのために潜在的漁場推定や、南北海道沿岸域におけるホタテガイやマコブの水産増養殖場の最適育成海域予測のための海洋 GIS 空間モデリングを結合した統合化沿岸域水産海洋情報システムを開発している。水産海洋情報システム分野の新しい挑戦は、海洋学的なパラメータの予測、検証および3次元可視化、実時間または準実時間のユーザー・コミュニティへの新情報プロダクトの提供へと進展できる。我々はこの進行中のプロジェクトの概要を示して、それらを題材に海洋生態学分野における将来の大型研究計画を発展させるべきか議論する予定である。

キーワード: 統合化水産海洋情報システム, 衛星リモートセンシング, 海洋 GIS 分野, 函館マリンバイオクラスター, 海洋生態学

Keywords: integrated fisheries information system, satellite remote sensing, marine-GIS, Hakodate Marine Bio Cluster, marine ecology